

第52期
生進路
だより

Breakthrough

ブレイクスルー

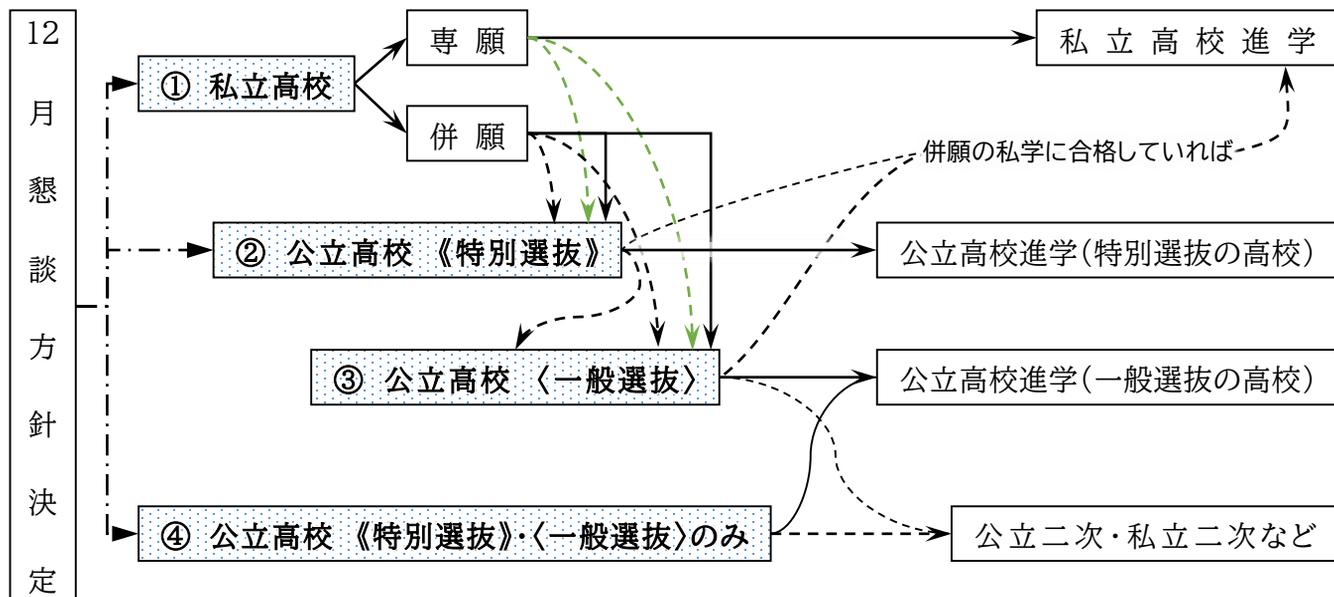
第14号
令和4年
9月30日



いよいよ10月が近づいてきました。昼夜の寒暖差が大きいです、体調管理は万全ですか。

今回は、より具体的に進路(高校)選択のプロセスを見ていきます。まず下のチャートを見てください。

私立・公立の高校に分けてポイントを押さえておきましょう。



* ———> 線は合格の場合, ----> 線は不調の場合のルート

* 就職選考, 高専入試についてはここでは省略しています。

① 私立高校入試について

専願・併願の受験の区別は7月の進路学習で説明しましたので今回は割愛しますが、私学入試について知っておきたいことは、---->の線で示されるような不合格の例がほぼゼロだということです。実際に、過去三年間でも私立高校入試で不合格になった人はいません。なぜでしょうか。理由は主に3つ。

① 少子化の影響で、以前のような厳しい基準で受験生を選抜すると、私学に人が集まらない可能性があることです。これは③で述べている「教育(進路)相談」のことにも関係します。他にも受験生にあまり人気のない女子校・男子校が次々に姿を消して共学になっていったのも、私学の生き残り戦略の一つかもしれません。

② 私学の多くは学科をいくつか設けており、コース毎に合格基準点が定められています。例えば上位のコース・科でチャレンジ受験して試験の点数が足りなくても不合格にはならず、普通コース合格になることです。これを一般に私学の転科合格といいます。私立高校の多くは、普通コースのほかに、特進コース、I類、英数コース、スーパーアドバンス、特進理系など、呼び方は様々ですが、難関国公や難関私立大学の入試突破を目標とする学科を設置しています。

▶ 転科合格の例) Aさんは、私立B高校の大学入学特訓コースの特進コースを受験しました。

A君の入試結果	コース	合格基準点
270/500点満点	特進コース	290
	普通コース	255

Aさんの入試結果(5教科合計)は左の表のようなものでした。Aさんは、特進コースの合格基準点に20点及びませんので、残念ながら『特進コースは不合格』です。しかし、普通コースの合格基準点は上回っているので、『普通コースは合格』ということになります。

これがいわゆる転科合格(回し合格といったりもします)です。過去に三原台の先輩たちもこの結果だった人は大勢います。でも、転科合格とは言え、合格は合格ですからある意味安心して公立高校を受験できるともいえます。なお、この転科合格のシステムは私立高校によってさまざまな形がありますから、説明会でよく聞いておきましょう。

⑤なぜ私立高校入試の不合格がほぼ皆無かという(無理をしなければという条件つきですが)教育相談(進路相談ともいう)があるからです。これは大阪独自のシステムで、来年年明けすぐに先生たちがみなさんのこれまでの成績(実力テストの結果)をもって受験希望校に行き、合格の可能性について高校の進路担当の先生から話を聞くというものです。当然、私学の先生から個々の希望者について返事をもらいます。詳細は次の機会でお伝えしますが、少なくともこの結果を受けて、平均点が80点以上の受験生が例年集まる学校なのに、平均50点の力で受けるというような無謀な受験は避けられます。大阪で私学受験不合格になる人が極端に少ないのは、この教育相談があるからだとも言えます。

しかし、甘く考えてはいけません！どんな成績でも私学は合格できるわけではありません。学科試験の結果が及ばず「併願受験そのものをあきらめる」ことにも繋がるからです。

②③④ 公立高校(特別選抜)・(一般選抜)受験について

まずどのような形で合否が判定されるか理解しておきましょう。基本的に型Ⅰ～Ⅳがあることを認識しておきましょう。10月末に配付予定の『進路の手引き1』に今年度版を掲載します。

◀特別選抜▶ 評定は1年・2年・3年でかける倍率が1, 1, 3倍 つまり $45+45+135=225$

満点	型	学校×倍率	点数	調査書×倍率	点数	学校例
学力検査 225 + 調査書 225 ↓ 計450点 + 実技点	Ⅰ	1.4	315	0.6	135	水都国際, 汎愛, 東住吉など
	Ⅱ	1.2	270	0.8	180	夕陽丘, 咲くやこの花, 工芸など
	Ⅲ	1.0	225	1.0	225	港南造形, 大塚, 和泉総合, 長吉など
※実技点は学校により異なる。100, 130, 150, 225の4パターン。なおⅣ型はない。						

◀一般選抜▶ 評定は1年・2年・3年でかける倍率が2, 2, 6倍 つまり $90+90+270=450$

満点	型	学校×倍率	点数	調査書×倍率	点数	学校例
学力検査 450 + 調査書 450 ↓ 計900点	Ⅰ	1.4	630	0.6	270	文理学科, 登美丘, 泉陽, 金岡など
	Ⅱ	1.2	540	0.8	360	堺市立堺, 泉北, 今宮工科など
	Ⅲ	1.0	450	1.0	450	農芸, 堺工科, 成美, 堺上など
	Ⅳ	0.8	360	1.2	540	福泉, 信太, 美原など

*評定から算出した調査書の数値がいわゆる内申(点)となります。

また、公立高校受験には自己申告書が必要です。夏休みの宿題として、ワークシートに取り組んでくれたと思います。大阪府の公立高校を受験する人は、必ず出願時に自己申告書を提出しなければなりません。これは、簡単に言えば「どれほど私はこの高校に進学したいのか」をアピールするための書類です。体育大会が終わり、泉北プロジェクトも佳境に入ってきました。これまでの経験から学んだことを振り返っておきましょう。

自己申告書の内容は、各学校が公表しているアドミッションポリシー(「どういう生徒の入学を望むか」という方針)と合致していることが必要になります。現時点で受験を考えている高校のアドミッションポリシーを一度確認くと良いでしょう。高校のHPまたは大阪府のHPから確認できます。なお、このアドミッションポリシーは、高校によって内容がガラッと違います。また、これを基に書かれた自己申告書は、合否判定の判断材料の一つになり、じっくり読まれます。丁寧に書くことも心がけましょう。

